



普及進むか マイナンバーカード

【古石】新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、緊急給付金や、金融機関に一律10万円を配る特別給付金（現金給付）が、オンラインで手続きできるマイナンバーカードが活用されている。政府は、人と接触せず給付金を受け取ることを目指して、マイナンバーカードの普及を進めている。政府は、人と接触せず給付金を受け取ることを目指して、マイナンバーカードの普及を進めている。政府は、人と接触せず給付金を受け取ることを目指して、マイナンバーカードの普及を進めている。

10万円給付 オンライン手続きで注目

【古石】新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、緊急給付金や、金融機関に一律10万円を配る特別給付金（現金給付）が、オンラインで手続きできるマイナンバーカードが活用されている。政府は、人と接触せず給付金を受け取ることを目指して、マイナンバーカードの普及を進めている。政府は、人と接触せず給付金を受け取ることを目指して、マイナンバーカードの普及を進めている。

マイナンバーカードの普及率推移
2017年3月: 1.5%
2018年3月: 3.5%
2019年3月: 6.5%
2020年3月: 11.5%
2021年3月: 16.0%

情報漏えい懸念なお マイナンバーカード

【古石】マイナンバーカードの普及が進む一方で、個人情報の漏えいに関する懸念もなお存在している。政府は、個人情報の保護を確保するために、マイナンバーカードのセキュリティを強化している。政府は、個人情報の保護を確保するために、マイナンバーカードのセキュリティを強化している。

道内初クラスター受け入れ 北見赤十字病院

【北見】北見市で新型コロナウイルスの道内初のクラスター（感染者集団）が発生して以降、地域の感染拡大を抑制するために治療の場を提供してきた北見赤十字病院は、道内初となるクラスターを受け入れた。北見赤十字病院は、道内初となるクラスターを受け入れた。北見赤十字病院は、道内初となるクラスターを受け入れた。

道内の新規感染鈍化

【古石】新型コロナウイルスの新規感染者数は、10人を超えて以降初めて10人以下となった。緊急事態宣言の全国拡大が感染拡大を抑制し、札幌市は外出自粛の効果が一時的に顕在化してきたと分析。緊急事態宣言の全国拡大が感染拡大を抑制し、札幌市は外出自粛の効果が一時的に顕在化してきたと分析。

現金給付 申請相次ぐ

【古石】新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、現金給付の申請が相次いでいる。申請者は、現金給付を受けたいという希望が強い。現金給付を受けたいという希望が強い。現金給付を受けたいという希望が強い。

緊急事態 北海道は継続

【古石】北海道は、緊急事態宣言を継続している。北海道は、緊急事態宣言を継続している。北海道は、緊急事態宣言を継続している。北海道は、緊急事態宣言を継続している。

石狩管内 31日まで

【古石】石狩管内は、緊急事態宣言を31日まで継続している。石狩管内は、緊急事態宣言を31日まで継続している。石狩管内は、緊急事態宣言を31日まで継続している。

岩見沢市 売り上げ減事業者対象

【古石】岩見沢市は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、売り上げが大幅に減少した事業者を対象に、現金給付を実施している。岩見沢市は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、売り上げが大幅に減少した事業者を対象に、現金給付を実施している。

管内の業況「最悪」

【古石】管内の業況は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、最悪の状態にある。管内の業況は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、最悪の状態にある。管内の業況は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、最悪の状態にある。



外出自粛効果 徐々に

【古石】新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、外出自粛の効果は徐々に現れている。外出自粛の効果は徐々に現れている。外出自粛の効果は徐々に現れている。

この1週間が鍵

【古石】新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、この1週間が鍵となる。この1週間が鍵となる。この1週間が鍵となる。

道内初クラスター受け入れ

【古石】道内初のクラスターを受け入れた北見赤十字病院。道内初のクラスターを受け入れた北見赤十字病院。道内初のクラスターを受け入れた北見赤十字病院。